

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	62 島田市の幹線道路整備									
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度			交付対象	静岡県島田市					
計画の目標	幹線道路の整備により、産業交通・通過交通を広域幹線道路及び補助幹線道路へ誘導することで生活道路への車両の導入を抑制し、安全な道路交通の確保、安心快適な生活環境の保全を図る。 また、市街地では、歩道整備や交差点改良などにより、歩行者と車両が安全に通行できる道路環境を確保する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①生活道路の交通量を半減する。 ②用地を取得済みで未整備 (暫定型・概成型) となっている路線について優先的に整備を行い、延長で70%以上を完了する。 ③市総合計画 (後期計画) に掲げられている市民アンケートによる満足度を5%アップする。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)				
①	定義：生活道路の交通量を一定箇所において調査する。 算定：市道色尾崎中河1号線の交通量 (県道島田吉田線交差点) H26現況交通量：評価時点での交通量			1,700台	-	850台				
②	定義：色尾大柳1.10km、本通り御仮屋0.45km、東町御請1.10km、計2.65kmの70%以上を完成型とする。 算定：完成型の道路延長/暫定型、概成型の道路延長 (2.65km)			0%	-	70%				
③	定義：市総合計画 (後期計画) に掲げられている市民アンケートによる満足度を5%アップする。 算定：平成24年：49.5%→平成29年：55%			49.50%	-	55.00%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,465 百万円	A	2,465 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ									
第2期 (H20~H24)					第3期 (H25~H29)				
分野名					分野名				
目標名					目標名				
指標名	目標値 (H24)				指標名	目標値 (H29)			

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) -：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))
(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●：本計画の期間中に完成 ▲：本計画の期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))

交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	道路種別	省略	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30			
62-01	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(他) 色尾大柳線	バイパス L=1.22km	島田市						270	△	計画136~移行
62-02	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(2) 横岡新田牛尾線	現道拡幅 L=1.55km	島田市						244	△	計画136~移行
62-03	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(他) 谷口中河線	バイパス L=1.40km	島田市						882	△	計画136~移行
62-04	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(2) 本通り御仮屋線	現道拡幅 L=0.9km	島田市						101	△	計画136~移行
62-05	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(2) 横井御仮屋線	交差点改良 N=1箇所	島田市						152	△	計画136~移行
62-06	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(2) 島竹下線	現道拡幅 L=0.43km	島田市						387	▲	計画41~移行
62-07	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(1) 菊川神谷城線	現道拡幅・バイパス L=0.25km	島田市						12	▲	計画136~移行
62-08	街路	一般	静岡県	間接	往還下組合	区画	改築	往還下地区 ((都) 二軒屋牛尾線)	区画整理 A=41ha	島田市						30	○	
62-09	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(2) 蓬菜橋線	現道拡幅 L=0.11km	島田市						70	△	計画136~移行
62-10	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(他) 細島南部1号線ほか1路線	現道拡幅 L=0.13km	島田市						149	△	計画136~移行
62-11	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(1) 市民病院前線他3路線	現道拡幅 L=0.25km	島田市						16	△	計画136~移行
62-12	道路	一般	島田市	直接	島田市	市町村道	改築	(2) 東町御請線	現道拡幅 L=0.68km	島田市						152	▲	計画136~移行
											合計					2,465		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	省略	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29				
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業										市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	H25		H26	H27	H28	H29						
合計																				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
 （参考）計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
 （別添「事業実施計画」参照）

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・地権者との用地交渉が難航したことにより計画通りに事業が進まなかったが、人口増や施設の移転等を考慮すれば幹線道路の整備により生活道路の交通量は減少傾向にある。					
II 定量的指標の達成状況	指標① 生活道路の交通量を一定箇所において調査する。	最終目標値	850台	目標値と実績値に差が出た要因	・目標設定時と比べ生活圏の世帯数が増加（約250世帯）したことや、認定こども園の移転、行政サービスセンター等の新設による交通量の増加があったため目標値まで達成できなかった。 また、対象事業の整備が完了していないこともあり目標値まで達成できなかった。		
		最終実績値	1,579台				
	指標② 色尾大柳1.10km、本通り御飯屋0.45km、東町御請1.10km、計2.65kmの70%以上を完成型とする。	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因		・地権者の相続問題や代替地の要求、残地の処理などの要因により用地交渉が難航したことにより目標値まで達することができなかった。	
		最終実績値	52.26%				
	指標③ 市総合計画（後期計画）に掲げられている市民アンケートによる満足度を5%アップする。	最終目標値	55.00%	目標値と実績値に差が出た要因			・地権者との用地交渉が難航したことにより計画通り幹線道路の整備が進んでいないため、市民の満足度が目標値まで達することができなかった。
		最終実績値	43.30%				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		・幹線道路が整備されたことにより、道路周辺地区に店舗や住宅・集合住宅が建築され新たな賑わいが生まれてきた。					

3. 特記事項（今後の方針等）

・新たな整備計画「島田市の幹線道路整備（R1～R5）」に引き継がれて、限りある財源の中で効果的に継続中の事業を推進する。また、次期整備計画では社会情勢の変化から、交通量及び整備延長を実情に合わせた目標値に変更した。

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	島田市社会資本総合整備計画評価委員会による。
事後評価の実施時期	令和2年3月
公表の方法	HPで公表

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	62 島田市の幹線道路整備		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付団体	静岡県島田市

